

意識啓発セミナー 実施報告書

【演題】女性が輝く社会をめざして

【講師】水谷 知加子氏（愛知県県民生活部 女性の活躍促進監）

【日時】平成 29 年 1 月 18 日（水） 16:00～17:30

【場所】岐阜薬科大学本部 大学院講義室

【参加者数】43 人（うち女性研究者 12 人）

愛知県において堀井奈津子副知事のもと「あいち女性の活躍促進プロジェクト」を推進されている、女性の活躍促進監 水谷知加子氏を講師に迎え、ご講演いただいた。

講演では、女性の活躍が必要とされる背景を、様々なデータをもとにお話しいただいた。「女性の活躍」とは女性だけではなく、社会全体の問題である。女性が働きやすい環境にすることで生産性が向上し、企業の利益が上がることになるからである。現状に働きかけるとともに、次世代の意識改革も必要である。

本格的な少子高齢社会をむかえ、社会が活力を維持、発展させていくためには、女性の力が不可欠である。特別養護老人ホームの入所待機者が全国で 50 万人以上もいるという現在、育児だけでなく、今後は介護との両立が深刻な問題になってくるとの指摘があった。

講演の後半には愛知県の取組等についてご紹介いただいた。愛知県では、女性がいきいきと働き続けられる社会の実現にむけて、企業への働きかけ、ワーク・ライフ・バランスの推進、子育て支援など様々な事業を「あいち女性の活躍促進プロジェクト」として、全庁を挙げて推進している。

愛知県では、とくに企業に所属する女性研究者・技術者を増やすために、働き続けられる職場環境を実現してもらうことと、研究職・技術職を目指す学生を支援する取組が紹介された。

講師自身が育児休暇取得の経験があり、当時の上司が、現在の稲垣隆司岐阜薬科大学長であった。過度の遠慮はなく、他の同僚と同様の扱いで仕事に取り組むよう指導し鍛えてくれたと、その当時を振り返られた。自身の経験から、「女性に 3K 期待して、機会を与えて、鍛える をください！」とのメッセージをいただいた。

また、次世代を育成する大学職員として「イクメンとしなやか女子」を育成してほしいと励ましがあった。

